

講義名	心理学演習(体験学習で学ぶコミュニケーション)		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	中川 典子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	23074

### 主題と概要

SNSの普及は利便性ととも、以前には見られなかった新しい形式で人と人とを繋ぐツールを私たちの日常生活にもたらした。他方、SNSの台頭により、直接他者と対面しながらコミュニケーションをとることにより、人間関係を構築することに苦手意識をもつ若い世代の人たちを生み出したことも事実である。本コースでは、「ラボラトリー方式」による体験学習を通じてグループメンバーとの対面によるコミュニケーションを実践する。具体的にはグループワークにおけるプロセスを振り返り、良好な人間関係を築くために必要な知識と態度、そしてスキルを習得する。

### 到達目標

- (1) 自分のこれまでの他者との関わり方を見直すことができる。
- (2) どのようにして良好な人間関係をつくるのかについて、真剣に考えることができる。
- (3) 自分自身を見つめ直す方法を探ることができる。
- (4) 多様な視点で物事を見ることができるようになる。
- (5) 他者と協働することの意味や意義を考え、実践できるようになる。
- (6) リーダーシップやコミュニケーションのあり様がグループダイナミクスに与える影響について考察する。
- (7) 上記を踏まえて、実生活で他者と協働し、共存するためのコミュニケーション力を養う。

### 提出課題

毎回、「振り返りシート」を執筆し、提出する。  
上記に加えて、その他の課題を課すことがある。

### 評価の基準

- (1) 授業態度・参加度 (10%)
- (2) 課題(振り返りシート等) (50%)
- (3) 最終レポート試験 (40%)

### 履修にあたっての注意・助言他

- (1) コースの評価は、上記の成績評価基準の(1)(2(3))すべての項目を総合して行うが、一つでも不参加の項目がある場合は不合格となる。
- (2) 講師が入室したときに教室にいない学生は遅刻者と見なす。特別な理由がない限り遅刻厳禁。
- (3) 規定の時間以上の遅刻は欠席となる。また、規定以上の回数欠席すると単位が認定されない。  
遅刻するとその日のワークに参加できなくなり、振り返りシートも提出できなくなるので注意すること。

\*詳細は、第1回目の授業で知らせる。

### 教科書

.使用しない。

### プリント資料及び参考文献

授業で使用する教材は、授業中に適宜、配布する。

### 授業計画

回	授業内容
1.	コースガイダンスとラボラトリー体験学習(1)
2.	ラボラトリー体験学習(2)
3.	ラボラトリー体験学習(3)
4.	ラボラトリー体験学習(4)
5.	ラボラトリー体験学習(5)
6.	ラボラトリー体験学習(6)
7.	ラボラトリー体験学習(7)
8.	ラボラトリー体験学習(8)
9.	ラボラトリー体験学習(9)
10.	ラボラトリー体験学習(10)
11.	ラボラトリー体験学習(11)
12.	ラボラトリー体験学習(12)
13.	ラボラトリー体験学習(13)
14.	ラボラトリー体験学習(14)
15.	ラボラトリー体験学習(15)

### 予習・復習

復習として、毎回、授業内容に関する感想や考察をジャーナル形式で提出する。また、予習として、次週の演習の準備のための課題を課すことがある。

### 備考

このコースは体験学習に重きを置いた内容の授業であるため、黙って出席しているだけでは授業に参加しているとは見なされない。受講生には積極的な姿勢で参加することを期待する。

第1回目の授業から体験学習を実施するので、必ず出席すること。